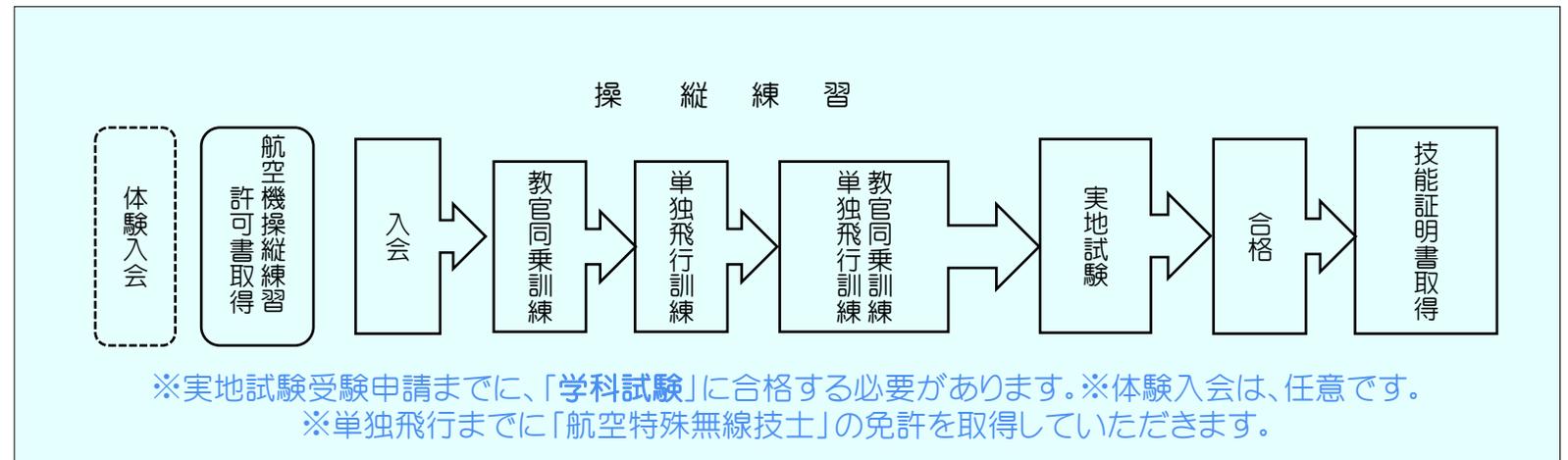


# 飛行訓練の流れ

飛行訓練は、未経験の方を対象に、初めてのフライトから技能証明書の取得まで、どのような訓練を何時間実施するのか、訓練計画に沿って進めていきます。訓練計画はあくまでも標準的なものであって、そのとおりに進まないからダメというものではありません。訓練の進む早さには個人差があります。これは**操縦が上手・下手**ということではなく、**訓練時の天気や気流の状態など、あらゆる要素がいつも理想どおりではないこと、そして訓練頻度によっても上達の進度は異なります**。もちろん、標準よりも早く訓練が進む方もいらっしゃいます。**訓練は、個々の方に合わせて進めていきますので、ご安心ください**。

訓練開始から技能証明書取得までは下記のステップで進めていきます。



# 飛行訓練の流れ

## (1) 教官同乗訓練

- まずは教官同乗飛行訓練から始めます。
- 操縦装置は、教習所の車とは違い、複式になっており教官の席にもあります。
- 状況によりいつでも教官が操縦を取って代わることができるのでご安心ください。
- 最初は、教官が操縦し徐々に、ご自身で操縦をする機会多くなります。

## (2) 単独飛行(ソロ・フライト)

飛行時間約 20～50 時間(個人差によります)前後で、教官が認めると、いよいよご自身だけが搭乗した「単独飛行」を行います。単独飛行は、操縦技能証明書を取得するために、法的に求められている訓練です。初めて独りで空を飛ぶ瞬間は、大きな喜びとして一生の思い出になることでしょう。

## (3) 野外飛行

地図を見ながら、あらかじめ計画したコース・方位・速度で飛行をし、到着予定時刻などを計算をしながら他の空港を目指して飛行を行います。「ナビゲーション・フライト」とも呼んでいます。

## (4) 実地試験の準備

教官同乗訓練にて、応用空中操作、応用離着陸の訓練を行います。

## (5) 実地試験模擬訓練

教官が同乗し、実地試験を想定した飛行訓練や、座学を行い口頭試問に備えます。

## (6) 実地試験受験

いよいよ試験本番です。国土交通省の試験官による「口頭試問」「実技試験」を行います。合格すれば、技能証明書を手にすることができます。

技能証明書を取得後、航空身体検査に合格し、いよいよ「機長」として飛ぶことができます。